

環境年報 2020

Environmental Annual Report 2020



アスカコーポレーション 株式会社

目次

<目次>

◆ 目次	1
◆ ご挨拶	2
◆ 会社概要・沿革	3
◆ 環境方針	4
◆ 環境マネジメント	5
◆ 環境目標	6
◆ 環境負荷実績	7
◆ 法令順守	8
◆ SDGsとは	9
◆ SDGsの取組み	10
◆ 責任ある鉱物調達への対応	11
◆ 地域との調和（コミュニケーション）	12～13
◆ 防災訓練/年次とびっくす	14
◆ 年次とびっくす	15



<表紙写真>



【表紙の写真】 のおがた夏祭り 花火大会

直方市の夏の一大イベント『のおがた夏祭り2019』では、6000発の花火が夜空を彩りました。ASKAは他社と合同で花火大会を協賛していましたが、今回はASKA50周年に際し、単独で協賛させて頂きました。花火大会の翌朝は河川敷の清掃活動に参加しており、地域行事に積極的に参画しております。

■ 編集解説

- 1) 「環境年報2020」は、当社の環境活動の取り組みと成果を、年次報告として取りまとめたもので今回が6回目の発行となります。
- 2) 活動の実績は2019年度（2019年6月～2020年5月）を示しますがデータについては一部以前からの活動と直近の活動実績も含んでおります。
（表紙の西暦年号は発行年を表しています）
- 3) ご参考までに2019年度は弊社事業年度で第50期にあたります。

本小冊子が「弊社環境活動」のご理解の一助にでもなれば幸いです。

ご挨拶

お元気様です！

皆様、こんにちは。

日頃より大変お世話になりまして誠にありがとうございます。

当社は「自然との調和」を基調に、未来技術をアシストする表面処理業（Plating Art）として時代を常にリードし続け社会と暮らしに、陰ながら貢献してまいりました。

「環境はあらゆる生命の母胎であり、存続の基盤」と受け止め一人ひとりが環境の有限性を深く認識し、事業活動や日常活動が環境負荷の少ないものへ、持続的発展が可能な社会となるよう取組を通じて、地球環境の保全に貢献していく所存です。

今後ともアスカコーポレーションの「環境諸活動」にご理解を頂き、ご支援とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。



2020年12月

アスカコーポレーション株式会社

代表取締役社長 阪 文孝

■ 経営理念

キラリ 人、技術、未来 そして自然

人が輝き、技術が輝く、そして未来を輝かせたい。
またキラリ輝くアスカの表面処理技術によって、
ユーザー商品の品質と未来技術を支え、企業として永続的に輝き続けたいのです。

■ 経営方針

- 夢技術の創造
- 人、くらし、心を創る
- 未来社会を支える

■ 行動指針

- モノの未来を見つめ可能性にチャレンジ
- アーティスト集団となる
- クリーン&ビューティー
- 早くそして気持ちよく安心して満足を
- サンキュー&ハート
- 人と個性を大切に

会社概要・沿革

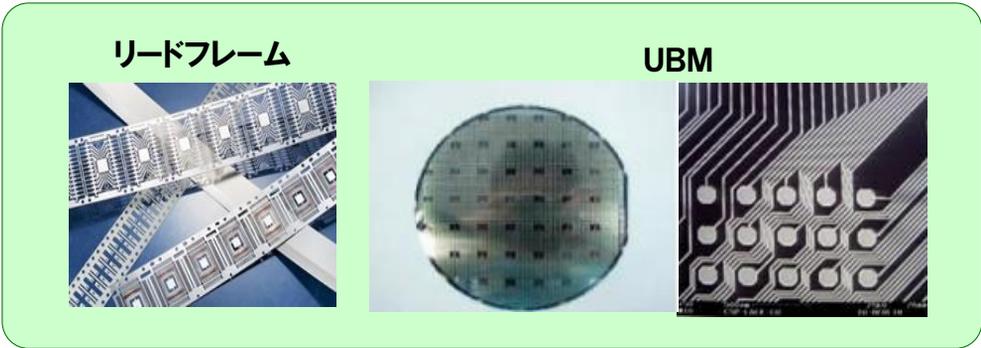
◆ 会社概要

名称 アスカコーポレーション株式会社
所在地 〒822-0007
 福岡県直方市大字下境、黍田427-8
設立年 昭和46年1月18日
資本金 3,200万円
代表 取締役社長 阪 文孝
規模 敷地面積 8,337 m²
 建屋面積 3,009 m²
 延床面積 6,726 m²
従業員 135名 (2020-12-1 現在)
業種 金属表面処理業 (めっき処理)
 (リードフレーム全面銀、Pdフープ、
 セラミック振動子搭載基板へのめっき
 外装フープ、UBM、バックメタル)



<アスカコーポレーション工場全景>

加工製品群



リードフレーム

UBM

◆ 会社沿革

- 1971 OMRON(株)様の要請により直方市に進出 (株)上田鍍金工業所として独立
- 1975 自動車部品の亜鉛めっきライン設置
- 1985 第3工場完成 IC用めっきライン設置
- 1989 第4工場建設 IC用めっきライン設置
- 1993 社名変更「アスカコーポレーション株式会社」
- 1998 新建屋完成 Pdフープライン、Auライン導入
- 1999 ISO9002認証取得
- 2001 中国(蘇州)進出(蘇州飛鳥表面処理公司)
- 2003 UBMめっきライン導入、アスカ塾開校
- 2006 ISO14001認証取得
- 2013 バックメタルライン導入
- 2016 阪(和彦)会長就任、阪(文孝)社長就任
- 2017 電解バックメタル2号機導入
- 2018 ワンストップサービス装置、UBM4号機(自動機)導入
ISO14001:2015年版認証取得



<ISO14001:2015(JQA)>

環境方針

当社は「心を高め、経営を伸ばす」の経営理念のキーワードのもと、2020年度も「安全で環境と共生する会社」を事業方針に据え、環境活動の充実に取り組みました。

【適用範囲】

1. 登録組織名称：アスカコーポレーション株式会社
(所在地、活動内容は会社概要に記載)
2. 組織及び対象者の範囲：当社のすべての組織及び従業員
(派遣社員、パート等を含む)に適用する。
3. 影響を及ぼすことができる範囲：黍田工業団地、外注先、供給者、請負業者、他

環 境 方 針

1、経営理念

キラリ！ 人、技術、未来、そして自然！
人が輝き、技術が輝く、そして未来を輝かせたい。またキラリ輝くアスカの表面処理技術(メッキ)によって、ユーザー商品の品質と未来技術を支え、企業として、永続的に輝き続けたいのです。

2、環境方針

従業員一人一人が企業活動のあらゆる面で、地球環境の保全に努め、豊かで安全な社会の構築に貢献することを目指して行動します。

3、行動指針

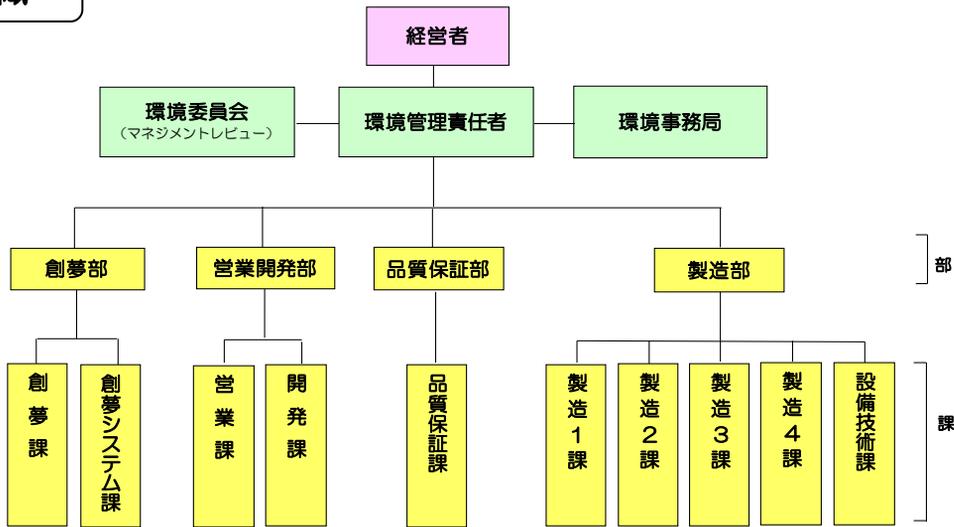
当社では、独自に培った技術を駆使し、リードフレームやリレー部品及びその他の電子部品の表面処理を実施しており広く社会の暮らしをサポートしております。しかし、その加工や開発の過程では少なからず環境に影響を与えていることを認識し、次に掲げる環境活動を展開します。

- 1) 私たちは当社が環境に与える影響を的確に捉え、技術的、経済的な可能性を考慮して、次の事項につき環境目的、目標を設定し、環境負荷の低減、環境汚染の予防及び環境保護に努めます。
 - ① 省エネルギー、省資源の推進
 - ② 工程の改善による材料の削減
 - ③ 廃棄物の分別と削減
 - ④ 地域社会との環境調和
 - ⑤ 排水基準の遵守
- 2) 私たちは環境保全の仕組みについて、定期的に環境目的、目標の達成度をレビューし、環境保全活動の継続的な改善に努めます。
- 3) 私たちは環境法規制及び当社が同意した協定等その他の基準を順守します。
- 4) 私たち組織で働くすべての者は環境意識の向上に努め、積極的に地域の環境活動に参画し、地域住民との交流を図ります。
- 5) 私たちはこの環境方針を内外に公表し、要求があったときはいつでも外部に公表できるようにします。

アスカコーポレーション株式会社
代表取締役社長 阪 文孝

環境マネジメント

環境組織



ISO14001定期審査

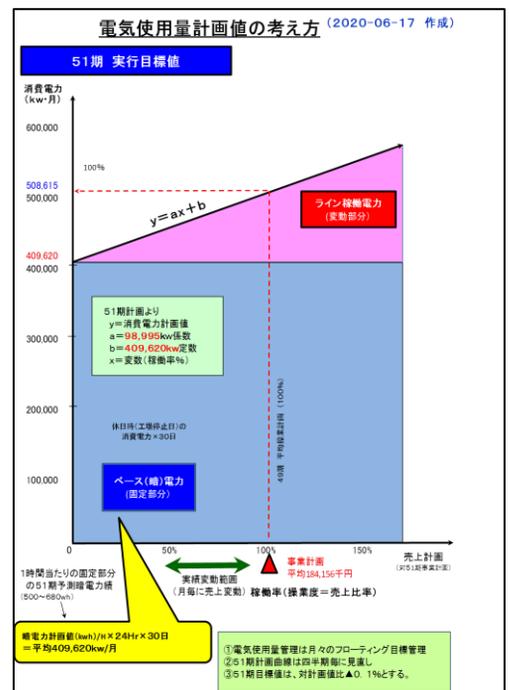
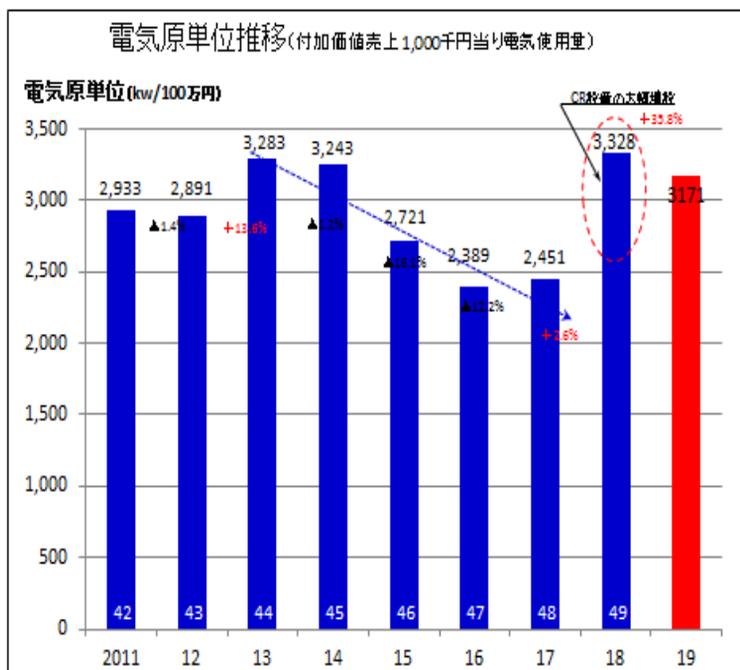
当社は、2006年3月に環境国際規格であるISO14001環境マネジメントシステムの認証を取得しており、各審査でも重大な不適合の発生はありません。今後も環境MSのパフォーマンスや有効性の向上に努力して行く所存です。

年度	カテゴリA	カテゴリB	改善の機会	グッドポイント	ストロングポイント
2006年(1st/2ndステージ)	0	1	20	0	0
2007年(定期審査)	0	0	21	0	0
2008年(定期審査)	0	0	9	0	0
2009年(更新審査)	0	0	11	0	0
2010年(定期審査)	0	0	9	1	0
2011年(定期審査)	0	0	7	2	0
2012年(更新審査)	0	1	13	0	0
2013年(定期審査)	0	0	3	1	1
2014年(定期審査)	0	0	10	0	0
2015年(更新審査)	0	0	12	1	0
2016年(定期審査)	0	0	9	1	0
2017年(2015年版移行審査)	0	0	5	1	0
2018年(更新審査)	0	0	14	2	0
2019年(定期審査)	0	0	6	1	0
2020年(定期審査)	0	1	6	2	0

環境目標 2019年度実績

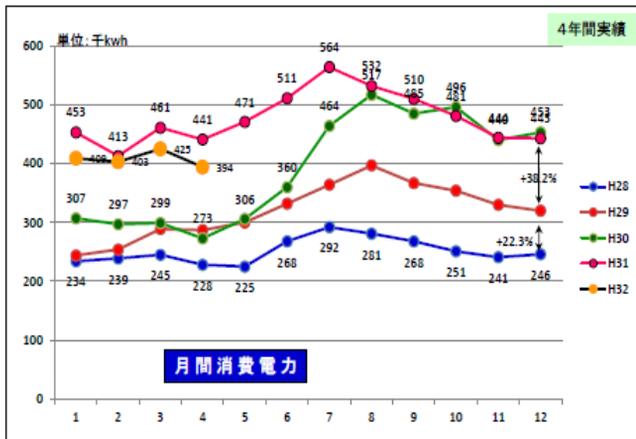
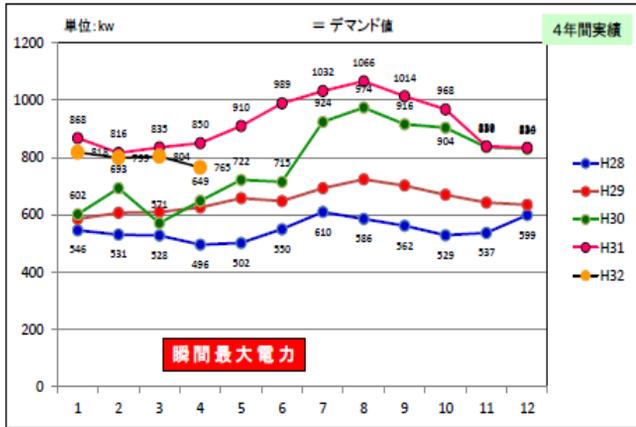
当社の活動から生ずる環境影響を低減する手段として、ISO14001に適合した環境マネジメントシステムに基づき環境目標を策定し推進しています。
 下表は2019年度の環境目標に対する実績です。(2019年度 = 50期)

No.	環境方針	環境目標 (50期)	実績	評価
1	省エネルギー	電気使用量の削減 前期比 年度末0.1%削減	前期比 年度末16.5%削減	○ 達成
2	省資源	めっき薬品使用量の削減 前期比 年度末0.1%削減	前期比 年度末7.8%削減	○ 達成
3	地域社会との環境調和	植栽活動 (緑地エリアの下草刈、枝の剪定) 4回以上/年	5回/年 実施	○ 達成
		納涼祭の開催 (8月開催) 1回/年	納涼祭 8月実施	○ 達成
		めっき組合会合参加 6回以上/年 工業団地協議会出席 1回以上/年	めっき組合会合参加 7回/年 参加 工業団地協議会出席 3回/年 出席	○ 達成
		のおがた夏祭り、チュールップフェア協賛・参画	夏祭り 協賛・参画 チュールップフェア (新型コロナウイルスの影響により開催中止)	○ 達成
4	環境保全活動の 継続的改善	環境クレーム「0」	クレーム0件	○ 達成



環境負荷実績

ASKA使用電力実績(瞬間最大電力と月間消費電力の関係)

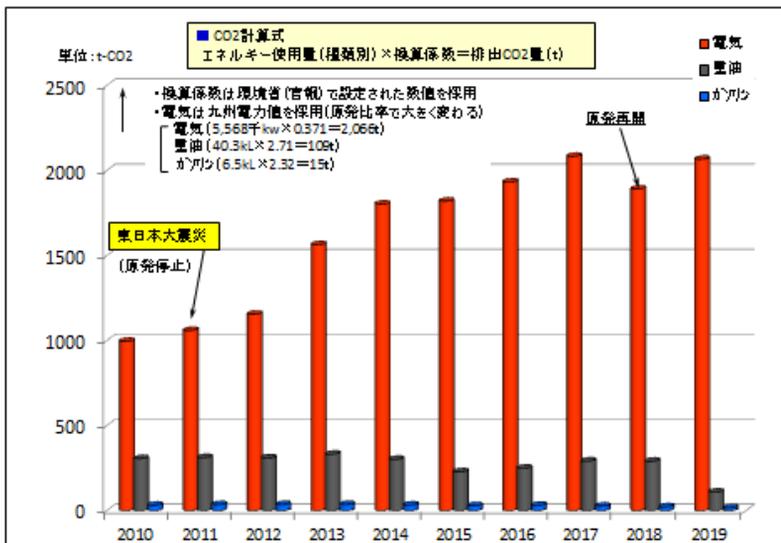


■ 電気
節電効果は原単位評価で実施しており、2019年度は前期比▲16.5%
節電効果はインフラ集約等の改善を実施し、原単位評価（前頁）の通り成果は継続しています

■ 用水
2019年度用水量（井戸水・上水）は、原単位で前年と同実績となっています。
用水総使用量平均は6,700m³で、その殆ど（97%以上）を工場地下水で賄っております。
また市からの上水は月平均160m³で主に厚生用として消費しております。

■ CO₂排出量
当社のCO₂排出の最大エネルギー源は電気で、ASKA全体の約94%を占めています。
2位は重油でボイラー（蒸気）用5%、ガソリンは社用車の燃料用で1%となっています。

ASKA-地球温暖化環境負荷(CO₂排出量換算値)



温室効果ガスは大気圏にあり、地表から放出された赤外線の一部を吸収することにより、温室効果をもたらす気体で、地球温暖化の主な原因とされています。

人間活動によって増加した主な温室効果ガスには二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガスがあります。

二酸化炭素(CO₂)は地球温暖化に及ぼす影響が最も大きい温室効果ガスです。

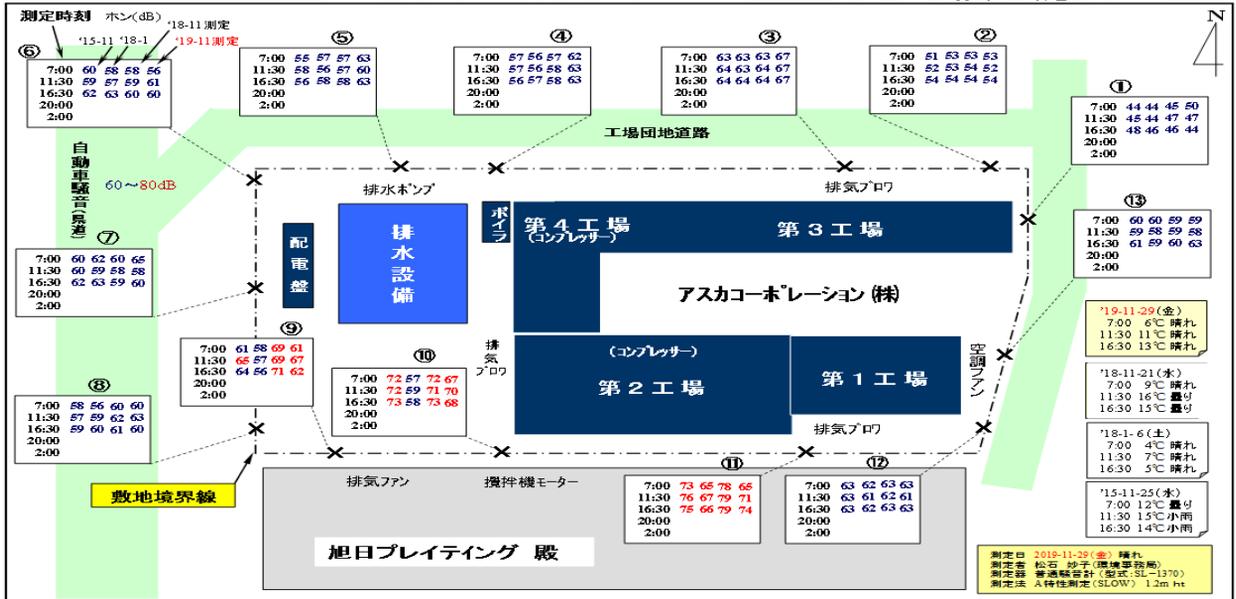
法令順守

◆ 騒音

事業活動で発生する「騒音」については、直方市の告示で第3種地域に該当しており、定期測定を実施し、規制基準の遵守に努めております。測定結果から全く問題ないレベルを確認しています。

工場騒音測定結果(R1)

付図-4
2019-12-6作成(測定) ASKA



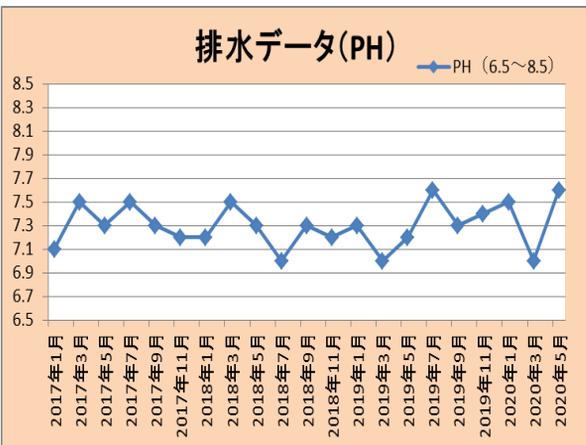
◆ 水質管理

水質汚濁防止法に係る「施設」を保有しており各ラインからの排水は当社の排水処理設備にて処理されます。

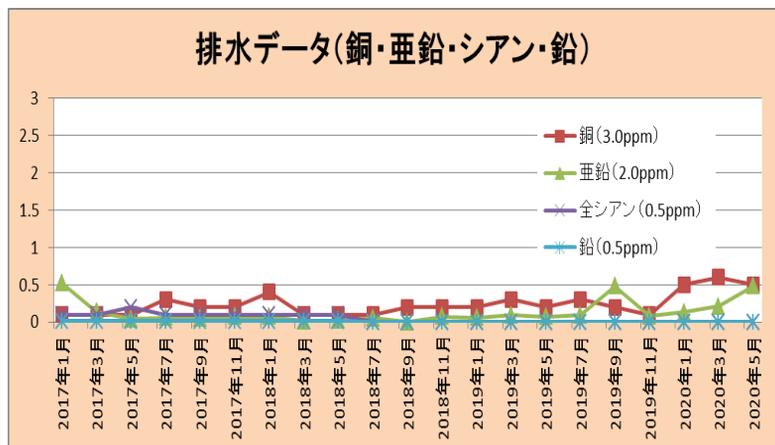
工場の排水は24時間リアルタイムで管理されており、直方市との公害防止協定で締結した15項目の規制基準の遵守に努めております。規制値違反、外部環境クレーム(苦情)等の発生ゼロを継続しております。



排水データ(PH)



排水データ(銅・亜鉛・シアン・鉛)



SDGsとは

SDGs : 「持続可能な開発目標」 (Sustainable Development Goals)

SDGsは、先進国・途上国すべての国を対象に、**経済・社会・環境**の3つの側面のバランスがとれた社会を目指す世界共通の目標として、2015年9月に国連で採択されました。社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年までに達成するという目標になっていて、**17のゴール（目標）**とそれぞれの下により具体的な**169項目のターゲット（達成基準）**があります。

SDGsは、“**誰一人取り残さないこと**”を基本理念としています。そのため、企業にも消費者を含めた様々なステークホルダーと連携し、SDGsの実現に向けた積極的な取り組みを実施することで、目標達成に貢献する事が期待されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさも守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナーシップで目標を達成しよう

SDGsの取組み

◆51期（2020年度）環境目標とSDGsのつながり

当社は経営理念の「**キラリ 人、技術、未来 そして自然**」をキーワードとして、国際社会全体の目標達成に向け、SDGsの取組みを事業活動に取り入れ、持続可能な企業を目指します。

下表は2020年度（51期）の環境目標とSDGsとの関連表です。

分野	環境目標（51期）	取組み内容	SDGsとの関連
省エネ	電気使用量の削減	生産性向上、品質ロス削減活動、 インフラ設備集約による電気使用量の削減	7 再生可能エネルギー 9 産業と消費の両方の効率を向上させる 13 気候変動に具体的な対策を
省資源	めっき薬品使用量の削減	工程改善によるめっき薬品使用量削減	9 産業と消費の両方の効率を向上させる 12 つくばない 17 パートナーシップで目標を達成しよう
社会・地域	植栽活動	黍田工業団地坂道の清掃・除草活動 構内の樹木の剪定、その他緑化活動	15 陸の豊かさを保ち増やす
	納涼祭の開催	納涼祭の開催による地域との交流 社会福祉施設へ売上金の寄付	3 持続可能な消費と生産 17 パートナーシップで目標を達成しよう
	めっき組合会合参加 工業団地協議会出席	めっき組合会合・工業団地協議会出席 を通じた環境コミュニケーションの推進	17 パートナーシップで目標を達成しよう
	のおがた夏祭り、チューリップフェア協賛・参画	のおがた夏祭り、チューリップフェア協賛・参画 チューリップの球根掘りの参加 地域の清掃活動参加	15 陸の豊かさを保ち増やす 17 パートナーシップで目標を達成しよう
	ペットボトルキャップ回収	ペットボトルキャップ回収活動による ポリオワクチンの提供	3 持続可能な消費と生産
	環境年報の発行・公表	環境年報の発行、 社内配布及びHP掲載	4 質の高い教育をみんなに
環境保全活動	環境クレーン「0」	環境パトロールの実施 環境ヒヤリ対策の実施	6 安全な水と衛生をみんなに 11 持続可能な住居と都市づくり
環境法規制の順守	環境法規制に関連する届出100%実施	環境委員会での届出状況の定期報告 順法性評価の実施	16 平和と公正な社会を築く 17 パートナーシップで目標を達成しよう

ASKA × SDGs
～ペットボトルキャップの回収～

①ペットボトルキャップ回収の活動は、
発展途上国の子ども達の健康にかかわっています。

**キャップ800個で
ポリオワクチン1人分**

簡単に
3000本の
プラスチックボトル

資源として
ペットボトルの
キャップ800個

ポリオワクチン
1人分

ペットボトルキャップ回収活動

回収場所には左の表示をして
社員にペットボトルキャップ回収を
呼びかけています。

責任ある鉱物調達（紛争鉱物）への対応



当社は、企業の社会的責任（CSR）を推進していくため、紛争鉱物調達方針を掲げ、紛争鉱物対応方針に沿った取り組みを実施しております。

『紛争鉱物』とは

コンゴ民主共和国およびその周辺9ヶ国の紛争地域で産出される鉱物「**スズ・タンタル・タングステン・金（3TG）**」の一部は、その採掘において深刻な人権侵害や環境破壊などをもたらし、あるいは武装勢力の資金源となり、「**紛争鉱物**」として国際的な問題となっています。

紛争鉱物対応方針

当社は、コンゴ民主共和国及びその周辺諸国で採掘され、人権侵害、環境破壊等を引き起こす武装勢力の資金源となる紛争鉱物（3TG：タンタル、錫、タングステン、金）を使用しません。

また調達取引先と協力して、**RMI**※が提供している「**CMRT（Conflict Minerals Reporting Template：紛争鉱物報告テンプレート）**」を使用し、サプライチェーンに対する鉱物の原産地と流通経路についての調査を適切に実施します。

※RMI：Responsible Minerals Initiative（責任ある鉱物イニシアチブ）

当社は、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体に対しては一切の妥協を許さず、関係を排除します。

紛争鉱物調査結果

調達取引先に協力頂き、紛争鉱物調査を行った結果、紛争鉱物の使用はございませんでした。2019年度のお客様からの紛争鉱物調査依頼に対する回答率は100%となっています。今後もお取引先様の協力のもと、責任ある調達に向けた取り組みを推進していきます。

地域との調和(コミュニケーション)

当社は、地域社会とのコミュニケーションを通じて相互が環境への認識を深め、広く環境保全に貢献する為に、2019年度は以下の様な活動を行いました。

3 すべての人に健康と福祉を



17 パートナシップで目標を達成しよう



納涼祭

当社では、毎年8月に納涼祭を開催し、地域住民の方々とのコミュニケーションを図っています。2019年度は小雨の降る中、約300名の参加がありました。従業員による店舗の売上は全て近くの養護学校へ寄付しています。今では黍田地区の夏の風物詩となっております。



<会場：アスカ駐車場広場>

<子供さん参加の早食い競争>



<飛び入り余興>

11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナシップで目標を達成しよう



工業団地の清掃

毎朝、朝礼後に分担して10分間、工業団地入口坂道スロープ周辺を清掃しています。清掃は下の写真の通り、坂道・側溝の掃き掃除や草刈り等を実施しており、清掃活動を通して美化意識の向上にもつながっています。



<毎朝、朝礼前に全員分担で10分清掃・・・清掃延べ時間：10分×10名×15日/月×12ヶ月＝300Hr/年>

地域との調和(コミュニケーション)



地域行事の協賛・参画

当社は遠賀川河川敷で毎年行われる直方市が主催している『直方チューリップフェア』に協賛・参画しています。

2020年4月に予定していたチューリップフェアは、新型コロナウイルスの影響によりイベント自体は開催中止となってしまいましたが、例年通り、球根植え、草抜きボランティア、球根堀りに参加させて頂きました。

球根堀りで頂いた球根は、アスカチューリップとして大切に育て、毎年きれいに花を咲かせてくれています。



『のおがたわくわーく』の参画 (2019-5)

環境目標以外にも、直方市が主催する小中学生を対象とした職場体験イベント『のおがたわくわーく』に参画しています。
2019年はめっき・化学の楽しさを知るきっかけづくりとして、めっき体験をして頂きました。



左の写真はボルト等に金めっきを施したものです。
金めっきは、耐食性を向上させる目的で使用されます。

防災訓練 / 年次とぴっくす

防災訓練とKYT訓練



当社では毎年秋に、隣接の工業団地企業さんとも合同で全従業員参加の総合防災訓練を実施しております。R1年度は大地震発生で電柱倒壊、薬品漏洩や設備火災を想定したBCP対応訓練を行いました。また労働災害防止を目的としたヒヤリハット活動や危険予知訓（KYT）も毎月、全社員対象に実施しており、現在「15年連続労災ゼロ」に挑戦中です。



<避難本部集合>



<避難状況報告>



<漏洩対策>



<初期消火活動>

● R1-11-16(土) 訓練実施

『地域社会貢献者賞』受賞 (2020-1)

日刊工業新聞社主催のモノづくり関連の優れた中堅・中小企業経営者を表彰する『第37回優秀経営者顕彰』に、地元の皆様からの推薦を頂き、**地域社会貢献者賞**を頂きました。

受賞理由は、「微細・精密な電子部品のめっきを得意とする。地元経済の活性化のため、企業誘致大使となり、地域経済の振興に尽力する。」とのことで、今後も地域住民の皆様やアスカに関わる全ての皆様への感謝の気持ちを忘れず、地域社会に貢献し続ける会社を目指していきます。



年次とびっくす (2019年度)



インフラ装置の集約 (2019-5)

スクラバーやコンプレッサーの配管見直し等を行い、インフラを集約したことで、スクラバー1台、コンプレッサー3台を停止する事が出来、電気使用量の削減を図りました。



『電気関係安全研修』の参加 (2019-9)

九州電力(株)が主催している『電気関係安全研修』に、ASKAの設備技術課メンバーが参加させて頂き、電気事故防止に関する座学や、安全带宙づり体験や低圧感電体験などの体感実習を通して、電気関係の安全について知識を深めました。



〈安全带宙づり体験〉

〈感電における人体影響〉

1.5V乾電池を電源として実際に人指指、中指間で感電を体験



〈VRによる高所作業墜落体験〉

アスカコーポレーションのオールスターキャストです



2020-1-6撮影

■ 編集後記

2019年度の実績データを中心に、年報という形でまとめました。6回目の年報発行となりますが今回も年次比°ックスを主体にシンプルな内容で統計の連続性を重視した編集と致しました。

記事に関するご質問やご感想、また弊社に対してのご要望などがございましたら裏面記載の連絡先までご一報ください。ありがとうございました。





アスカコーポレーション株式会社

品質保証部 環境担当

〒 822-0007 福岡県直方市大字下境字黍田427-8

TEL 0949-23-0331 FAX 0949-28-2941